



NEWS RELEASE

錦織圭選手の競技、「テニス」へのライブ観戦意向が躍進。 黒田博樹選手の日本球界復帰にも好感。 ～第29回 アスリートイメージ評価調査 2015年3月調査より～

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:大森壽郎 以下博報堂DYメディアパートナーズ)は、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:豊田真嗣)、データスタジアム株式会社(本社:東京都世田谷区 社長:加藤善彦)と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「第29回 アスリートイメージ評価調査」を実施いたしました。

■ 調査結果 ■

今回の調査において“スタジアムや会場で観戦したいスポーツ”を聞いたところ、「フィギュアスケート」が26.5%と最も高い結果となりました。また、その後の順位は「プロ野球(国内)」「ワールドカップサッカー」「オリンピック」に続き、「テニス」が5位となりました。「テニス」は2013年3月調査時の14位に比べ大きく順位を上げ、ライブ観戦に対する意向が高まりつつあります。背景には錦織圭選手の活躍もありそうです。

アスリートのイメージ項目において目立ったのは、今季からNPBに復帰している野球の黒田博樹選手でした。黒田選手はイメージ総合ランキングで7位に入っています。2013年8月調査の28位から大きく躍進しています。各イメージ項目ランキングにおいては「誠実な」アスリート、「生き方や発言に共感できる」アスリートそれぞれにおいて2位にランクインしています。黒田選手の日本球界復帰に関して、多くの人々がアスリートとしての行動、姿勢に心動かされていることがうかがえます。

・「スタジアムや会場で観戦したいスポーツ」

1位:フィギュアスケート 2位:プロ野球(国内) 3位:ワールドカップサッカー 4位:オリンピック 5位:テニス

・「アスリートイメージ総合ランキング」

1位:イチロー(野球) 2位:錦織圭(テニス) 3位:羽生結弦(フィギュアスケート) 4位:浅田真央(フィギュアスケート)

5位:田中将大(野球) 6位:吉田沙保里(レスリング) 7位:黒田博樹(野球) 8位:内村航平(体操)

9位:長谷部誠(サッカー) 10位:本田圭佑(サッカー)

・「誠実な」アスリート

1位:長谷部誠(サッカー) 2位:黒田博樹(野球) 3位:羽生結弦(フィギュアスケート) 4位:白井健三(体操) 5位:イチロー(野球)

・「生き方や発言に共感できる」アスリート

1位:イチロー(野球) 2位:黒田博樹(野球) 3位:長谷部誠(サッカー) 4位:錦織圭(テニス) 5位:工藤公康(野球)

この調査はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。博報堂DYメディアパートナーズでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価の分析を行ってまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

広報室

山崎・藤井・桐明 03-6441-9347

データドリブンメディアマーケティングセンター 武方・市川

03-6441-9772

■ アスリートイメージ評価 各種ランキング ■

1)「華やかな」アスリート

- 1位: 浅田真央(フィギュアスケート)
- 2位: 本郷理華(フィギュアスケート)
- 3位: 羽生結弦(フィギュアスケート)
- 4位: 錦織 圭(テニス)
- 5位: 村上佳菜子(フィギュアスケート)

2)「爽やかな」アスリート

- 1位: 羽生結弦(フィギュアスケート)
- 2位: 錦織 圭(テニス)
- 3位: 武藤嘉紀(サッカー)
- 4位: 宇野昌磨(フィギュアスケート)
- 5位: 石川遼(ゴルフ)

3)「明るい」アスリート

- 1位: 村上佳菜子(フィギュアスケート)
- 2位: 吉田沙保里(レスリング)
- 3位: 川澄奈穂美(サッカー)
- 4位: 浅田真央(フィギュアスケート)
- 5位: 前田健太(野球)

4)「存在感がある」アスリート

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: 白鵬(大相撲)
- 3位: 本田圭佑(サッカー)
- 4位: ダルビッシュ 有(野球)
- 5位: 田中将大(野球)

5)「勢いを感じる」アスリート

- 1位: 錦織 圭(テニス)
- 2位: 大谷翔平(野球)
- 3位: 羽生結弦(フィギュアスケート)
- 4位: 宇野昌磨(フィギュアスケート)
- 5位: 逸ノ城(大相撲)

■ 調査概要 ■

- ・調査方法: Web 調査
- ・調査地区: 首都圏+京阪神圏
(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)
- ・調査対象者: 対象エリアに在住の 15~69 歳の男女
- ・有効回収サンプル数: 600 サンプル
- ・調査期間: 2015 年 3 月 12 日~20 日